



明日から春休みが始まりますが、新しい学年を迎える準備期間として有意義に過ごしてもらいたいと思います。特に2年生はいよいよ受験生本番のスタートです。受験生にとって、まとめて時間が取れる春休みは貴重です。今年はたっぷり16日間の休みがありますので、部活動等の予定もあるでしょうが、上手に両立させて十分な学習時間を確保してください。

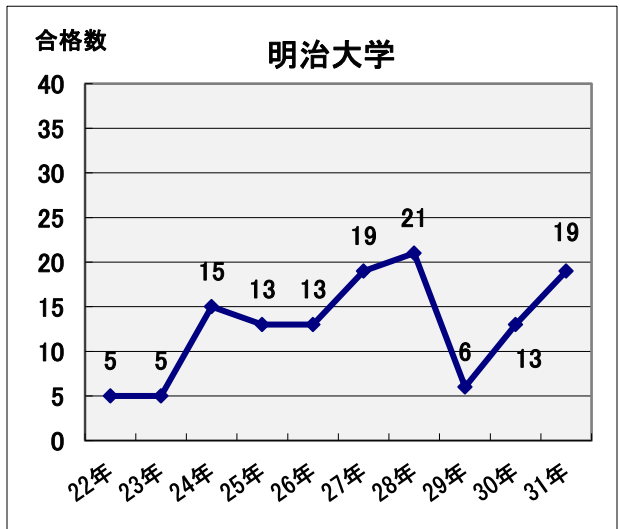
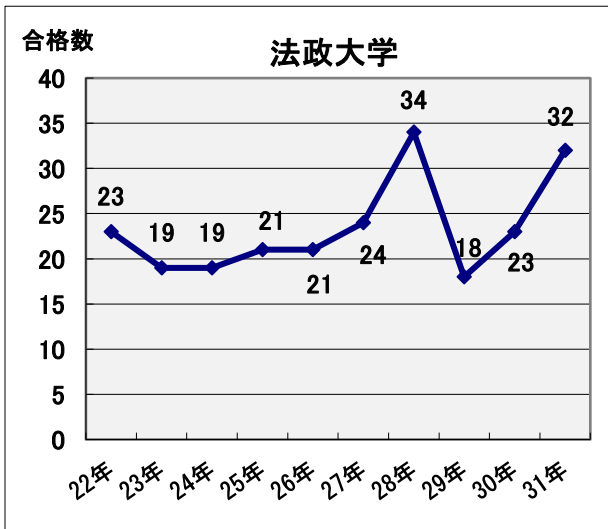
まとめて時間の取れるせっかくの春休みですから、宿題以外に、16日間で80時間（1日平均5時間）を目標に勉強してください。カレンダーを見て、どの日には何時間勉強できるか、どの科目の何に取り組むのか、返却された模試の結果などから自分の弱点を把握し、たとえば苦手科目の薄めの問題集を1冊やり遂げる、など自分のテーマを決めて実行できれば、大きな自信になると思います。また、春休み中にオープンキャンパスを実施している学校もあります。気分転換や目標校を絞り込むために、参加するのもいいと思います。

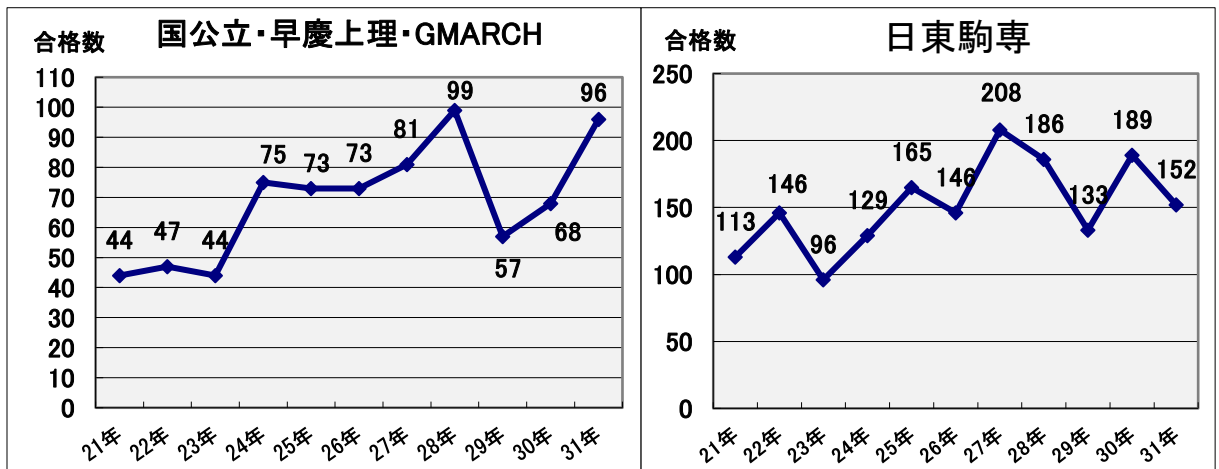
## ① 【よく頑張った!! 3年生】

すでにお伝えしたように、今春の入試では「なんとか合格を確保したい受験生が難関私大を敬遠」したため、前年比で【早稲田大：95%、明治大：93%、法政大：94%】など多くの難関私大で志願者が減少した一方で、中堅私大や押さえの大学で出願数が増加【専修大：123%、駒澤大：109%、東洋大：103%】しました。

各大学の合格者数についての公表はまだ一部に限られますが、昨年に引き続き多くの私立大学は合格者数を大きく絞り込みました。前年比で【駒澤大：72%、上智大：80%、学習院大：88%、東洋大：90%】など。ただし本校でも人気の明治大、青山学院大などの合格者数はほぼ前年並みだったようです（出願が減ったが合格者数は変わらず⇒やや入りやすくなった）。また、合格者のどの程度が入学するかなかなか読み切れない大学の多くは「補欠」を大量に出しています（学習院大学は補欠候補1610名、上智大学は5892名など）。

いずれにしても『今春の入試も厳しかった』というのが多くの受験生の実感であったと思いますが、そのような中で33期生はよく頑張りました。現在もまだ補欠合否の連絡待ちをしている卒業生が多く（補欠候補はのべ123名にもなります）、進路最終結果はまだ確定していませんが、西高生に人気があり、しかも合格数が大きく伸びた2大学および難関大（国公立・早慶上理・GMARCH）と中堅私大（日東駒専）の過去10年間の合格数（3/19現在）の推移を示します。





※ 難関大の合格者は大きく増加した。

※ 中堅私大の合格者は減少した。

## ② 【浪人生も頑張った !!】

昨春に卒業した32期生は52名が浪人生となりました。現段階で連絡が届いているのはまだ約半数の29名ですが、彼らからも朗報が届いています。辛い浪人生活を乗り越えて合格を手にした先輩達の健闘を讃えたいと思います。

浪人した先輩達の主な合格先 (3/18 現在)

新潟大学 (1), 高知大学 (1), 早稲田大学 (1), 明治大学 (4), 青山学院大学 (3), 立教大学 (1), 中央大学 (2), 法政大学 (7), 関西学院大学 (1), 日本大学 (10), 東洋大学 (3), 専修大学 (2), 京都産業大学 (1), ほか全合格数73

## ③ 【10名の先輩から1・2年生へのメッセージ : 進路懇談会から】

19日に行われた進路懇談会で10名の卒業生が残してくれた言葉を幾つか振り返りたいと思います。

### ● よく調べ、自分自身を理解する

- ・同じ学部、学科でも大学によって学べる内容、受験科目も違う。入試問題にも各大学の特色がある。過去問を見て対策をとることが大切。
- ・いろいろな大学をちゃんと調べ、本命以外にも納得できる魅力ある大学について調べておくべき。
- ・入試が多様化しているので、受験方式などもっとよく調べておくべきだった。  
⇒ AO、推薦、一般受験 (センター利用入試、受験科目など) 自分に向いているのはどれか?
- ・早く進路を決めておきたいと思っても「なんとなくAO・推薦で受験しよう」では失敗する。  
⇒ 自分の目標を明確化し、AO・推薦を受けるなら早期に受験校を決めておくべき。  
⇒ 小論文・面接・学科・プレゼンテーション・ディスカッションなど具体的な対策を取る
- ・公募推薦・AOを受験することにしても、落ちた時を考えて一般受験の勉強も並行して行う。

### ● 授業と部活 学校生活に前向きに取り組む

- ・学校の授業を大切にし、受験しない科目もおろそかにしない。
- ・部活で集中力、計画力、会話力などが培われ、推薦・AOでは部活を一生懸命やったことが武器になる。部活の仲間と刺激し合い、励まし合えた。

### ● 自分に適した勉強スタイルを見つける

- ・①: 塾で映像授業を見る, ②: 塾で集団授業を受ける (塾ではアドバイザーや仲間と情報交換でき、ライバルが刺激になって意欲が上がる), ③: 塾には通わず家で映像授業を見る, ④: 学校の先生に相談・質問できるので塾には通わない、など様々な勉強法があるので、自分に合った勉強スタイルを見つけよう。